

# モデルハウスをレンタルスペースに

## 紀の國建設

【函館】紀の國建設（本社・函館）が施工などを手掛けるセルコホーム（同・仙台）のモデルハウスが、無料のレンタルスペースとして利用者から評判を集めている。自宅と同様、落ち着ける雰囲気が女性らの支持を獲得。紀國隆介社長は

「地域の交流の場になる。住宅事業の認知度向上にもつなげたい」と話す。

紀の國建設は2003年、カナダ輸入住宅メーカーのセルコホームとパートナー契約を結んだ。函館を中心に販売と設計・施工を担っている。

レンタルスペースとしてのモデルハウス活用実績は従来からあり、売却の都度、場所を移して展開。現在は、日吉エリアの住宅分譲地「プロッサム日吉」で23年に整備した建物を使っている。

毎週平日4日間が対象で、条件次第では土曜も利用できる。騒音が出る行為、煙や臭いを発する料理といった禁止事項以外に大きな制限はなく、営利目的でもよい。一棟貸しのため1階のリビングやキッチン、2

階の洋室などをさまざまな用途で使えるのが売りだ。

子育てサークルや店舗を持たないマツサージュ師の施術で利用が多い。函館新外環状道路日吉ICが近く、札幌や東京から訪れるケースもある。管理・運営に携わる渡邊由梨加さんは「自宅に似た環境で活動でき、とても良い」と好評と話す。

今回のモデルハウスはセルコホームの標準的な仕様。レンタルスペースの利用者が魅力を感じた上で、同様の設計で自宅などとして新築することもできる。

紀國社長は、函館市内にレンタルスペースが少なく、公共施設では営利目的だと料金が跳ね上がるといった課題を指摘。「地域貢献の一つとして今後も広く利用を呼び掛けたい」と意気込む。



モデルハウスが地域の活動の場になっている